



<クラブ評価>

No	項目	内容
1	育成支援	子どもたちが安心・安全に過ごせるよう環境を整え、日常の基本的な生活習慣が身につくようルール等を指導し、さらに学年に合った発達段階に応じた個別支援を行う。
2	配慮を要する子どもへの対応	子ども自身の個性と特性を伸ばしながら、特別扱いせず、他の子供たちと上手に関われるよう支援を行う。職員間、保護者、学校との連携を図る。
3	運営体制	市運営基準に沿って利用者に安心していただけるよう的確な運営体制を整えるとともに、職員の労働環境を整備する。
4	学校及び地域・保護者との連携	保護者、学校、地域との連絡会で情報交換し連携を深め、一貫した統一性のある育成支援に努める。
5	施設及び設備・衛生管理及び安全対策	日々の施設整備・衛生管理をチェックリストで確認し、流行性感染症防止の対策も整える。集団生活の中で子どもたちの活動に一人ひとり注意しながら目を離さないよう努める。
	訓練実施回数	12回
6	質の向上	研修を通して支援員としての必要な知識を習得し、さらに専門性を高めるために資格取得を含め自己研鑽に努める。得た知識を実際の支援に活用する。
	1人当り研修参加回数	8回
7	青少年の健全育成に向けた取り組み	健康増進のために、体育室や運動場でのドッジボール等のスポーツを実施し、情操を豊かにするために季節行事や本の読み聞かせや工作を実施する。
	フローラルこまつ推進団体	×
	ボランティア活動実施回数	4回